

～救急車同乗実習 in 松江生協病院～

事件は現場でおきているんだ！

9：30ごろ救急車要請あり、医師、救命士、実習生で現場へ

【実習内容】

- ・ 医師、救急救命士による救急レクチャー
本場の BLS を学ぼう！
- ・ 救急車同乗体験（出動要請があった場合）
- ・ 病院待機中の救急車見学



【要請症例・・・70歳代女性】

一昨日から後頸部痛あり、回旋痛あり、救急搬送。

特に誘因なし症状程度の変遷なし嘔気、めまいなし、右顔面神経麻痺既往あり

頸部痛のため、歩行やトイレもつらくなり、搬送依頼

変形性頸椎症、また CT では軸椎周囲の石灰化あり、

環軸椎偽痛風の疑い

採血の炎症性変化はそこが起源疑う

（ほかに症状、身体所見、BXP 上では focus 疑いなし）

整形外科コンサルト



【感想】

救急車同乗実習では、現場に急行するスピーディーさ、一分一秒を争う緊張感があり、改めて救急医療の尊さを学ぶことができました。救命士さんの迅速な対応に驚きました。救急外来に到着すると担当医から救急外来の医師の仕事について診療しながら色々教えて頂きました。

救急外来は一度に複数の患者対応する場面もある中で、いかに迅速かつ丁寧に対応出来るか求められている現場だと感じました。



【救急救命士 Tさんより】

平成 25 年度からスタートした生協病院同乗実習ですが、一番のメリットは病院と消防の顔の見える関係の構築だと思います。院内での研修、救急車同乗での救急現場を通して、お互いの信頼関係の向上に繋がっています。また、救急車の同乗では医師、看護師に救急現場及び、救急活動の実情を知って貰えると共に、救急隊員も活動について直接医師の指導、助言をもらえ、有益な機会になっています。

【お申し込み】

松江生協病院 秘書課 岩成まで

TEL：0852-60-7095 / MAIL：igakutai@matsue-seikyo.jp